

平成31年2月7日

各位

会社名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (コード番号: 8732 東証第一部)
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦
 (TEL. 03-4540-3804)

平成31年1月次 月次概況 (速報) のお知らせ

平成31年1月次の当社グループの月次概況 (連結ベース) を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	平成30年3月期											
	平成29年									平成30年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位: 百万円)	469	488	449	404	489	539	483	482	607	552	499	562
外国為替取引高 (単位: 百万通貨単位)	63,192	72,786	82,184	88,166	117,248	143,437	115,410	122,896	81,853	142,982	164,784	129,679
外国為替取引口座数 (単位: 口座)	298,467	300,139	301,557	303,106	304,509	306,001	307,465	308,647	309,873	311,645	313,167	314,547
外国為替取引預り証拠金 (単位: 百万円)	59,995	61,529	62,091	62,774	63,253	64,734	63,512	61,675	61,378	62,789	62,309	61,758
一般顧客	50,108	50,819	51,353	52,431	53,410	54,057	55,014	55,820	55,367	57,073	57,628	56,966
金融法人 (B to B)	9,886	10,709	10,737	10,342	9,843	10,676	8,498	5,854	6,010	5,716	4,680	4,792
マネパカード口座数 (単位: 口座)	77,503	81,189	85,019	90,702	97,327	101,409	104,187	107,082	110,964	116,830	119,853	122,719

年 月	平成31年3月期											
	平成30年									平成31年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位: 百万円)	536	519	478	439	670	606	476	435	547	460		
外国為替取引高 (単位: 百万通貨単位)	91,552	116,599	101,591	92,238	107,310	84,706	118,371	96,598	91,536	133,017		
外国為替取引口座数 (単位: 口座)	315,872	317,341	318,698	319,983	321,275	322,271	323,931	325,232	326,421	327,859		
外国為替取引預り証拠金 (単位: 百万円)	62,379	61,817	63,050	63,736	62,506	62,707	62,428	62,361	63,000	62,097		
一般顧客	57,653	57,015	57,840	58,372	57,290	57,094	57,455	57,530	57,897	57,128		
金融法人 (B to B)	4,725	4,802	5,209	5,363	5,216	5,613	4,973	4,831	5,103	4,968		
マネパカード口座数 (単位: 口座)	124,965	129,820	134,553	137,762	139,807	141,535	143,219	144,889	146,856	148,845		

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っていません。
2. 外国為替取引口座数、マネパカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 平成23年8月より差金決済取引 (CFD) の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高 (原取引単位を米ドルに換算) 及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものとB to B取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。

< 1月次の概況 >

1月の外国為替相場は、米ドル／円については、1ドル＝109円台後半で取引が始まり、流動性が低下する中で前月からのドル安円高の流れを受け、中国経済指標の悪化やアップル社の売上高の下方修正をきっかけに投機的な動きと相俟って、3日には一時的に月の安値となる105円台前半まで急落し、その後107円台後半まで値を戻しました。その後は、米中通商問題におけるリスク緩和観測や米国利上げの一時停止への思惑等が交錯する中、107円台後半から109円台の狭い範囲で推移し、108円台後半で月末を迎えました。一方、米ドル／円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨についても、米ドル／円と同様に月初に円高へ大きく動いた後、円安方向で推移し、豪ドル／円や英ポンド／円を中心に変動率が高い水準となったものの、全体としての変動率は、前月を下回る水準となりました。

このような状況の中、外国為替取引高は、月初に大きく動いた米ドル／円の取引高が大きく増加し、全体としては前月比45%増加の1,330億通貨単位となりました。一方、営業収益は、相対的に収益性の低い米ドル／円の取引高割合が大きく増加したこと等により全体としての収益性は低下し、システム子会社によるシステム開発関連売上が前月に引き続き堅調であったものの、460百万円と前月比16%の減少となりました。また、顧客基盤については、外国為替取引口座数は前月比1,438口座増加の327,859口座、マネパカード口座数は前月比1,989口座増加の148,845口座と堅調に増加した一方、外国為替取引預り証拠金は、月初の急激な円高局面において顧客建玉に損失が生じ建玉数量自体も減少したこと等の影響により、前月比903百万円減少の62,097百万円となりました。

以 上